

【機械・金属】

◎主な配属先、業務内容

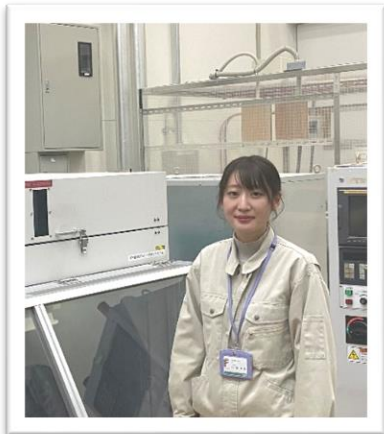
■出先機関

工業技術センター

- 機械・金属職をはじめ、化学職や電気職など様々な分野の研究職が勤務する試験研究機関
- 保有する各種試験・検査機器を利用して、企業からの技術相談の対応、企業からの依頼による金属材料や機械などの物性測定、評価試験等を実施
- 高度な研究設備を有する研究機関として、県内産業発展、新産業・新市場を創出すると期待される先進、先端分野の技術開発を推進
- 近年では、県内企業の生産現場などへのロボット技術の導入とロボット製品開発の支援、超小型人工衛星の製造に必要な評価施設の設備による宇宙産業創出支援などに必要な研究開発を行なっている



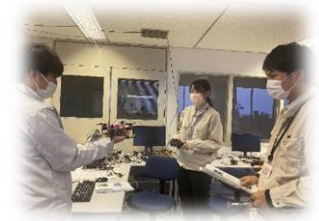
【機械・金属】令和元年度採用



工業技術センター

小谷 幸愛

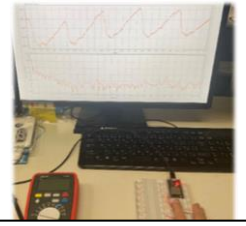
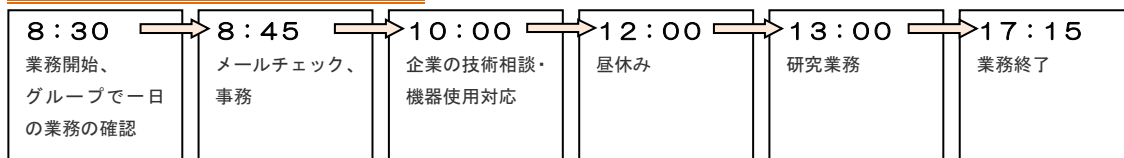
(福井大学 工学部知能システム工学科 卒業)



【主な担当業務】

- 企業からの光に関する技術相談対応
- 光学的な評価設備機器、レーザ加工機器
- 光を用いて生体信号を計測するヘルスケア分野の研究開発

◎ある一日のスケジュール



生体信号計測技術の研究の様子

◎福井県職員を志望した理由

結婚や出産をしても、仕事を続けていきたいという思いがあり、公務員を志望していました。また、大学3年時に工業技術センターのインターンシップに参加し、福井の産業発展のために様々な課題に取り組んでいたり、最新の機器設備を用いて最先端の研究を行っていたりする先輩方を見ることができました。愛着のある福井の技術に直に携わることができ、大学等で学んだ自分の技能を生かして、福井の産業の発展に貢献できる職場だと感じました。そんな工業技術センターで働きたいと思い、福井県職員を選択しました。

◎仕事をはじめて感じていること

私は機械系の学科を卒業していますが、工業技術センターには様々な専門分野の職員がいます。様々な専門分野の職員と協力しあって研究を進めることができ、楽しい面もあります。また、若手職員でワーキンググループを開いて、自分が興味をもって取り組んでいる研究開発についてフランクに話す機会もあります。男性の多い職場なので横のつながり等で心配事や不安もありましたが、なんとか充実した勤務を送れています。また、レーザの研究グループに配属され、ほとんど知らない分野での研究開発に初めは戸惑いもありましたが、勉強していくうちにレーザの研究に魅力を感じていきました。今は、レーザのセンシング技術について先輩方の指導・ご助言をいただきながら日々勉強を続けています。幅広い分野の技術の習得を行えるのも工業技術センターの魅力だと思います。

◎魅力・やりがい

自分が受けた企業からの技術相談や、共同研究が製品化につながったり、課題解決につながったりするとやりがいを感じます。たくさんの企業と関わる機会があり、今まで知らなかった福井の技術をたくさん知ることができるので、より福井を好きになれる仕事です。

◎採用試験対策

教養試験については、大学の公務員講座を利用し、数的処理を中心に学習しました。専門試験については、国家一般機械職の過去問を中心に勉強しました。材力などは大学の授業の復習を中心に行いました。私は機械科ではなかったので、流体や金属組織学などの授業はなく、技術士試験のテキスト等を使って基礎を自分で勉強しました。範囲が広いので、基礎を重点的にしっかり学習する必要があります。面接対策は、大学の就職支援室で実践的な練習を行いました。卒業研究との兼ね合いも大変ですが、研究室や周りの友達がどんどん一般企業の就活を終えていく中で、公務員試験勉強を続けていくのは辛い時期もありました。私は県庁一本で就職活動を行いましたが、一般企業の就活にも参加するとすると、一般企業の就活の時期は勉強する時間があまりとれません。メリハリをつけて計画的に勉強を進めていくことが大切だと思います。

◎後輩たちへ一言

福井の幅広い分野の産業に携われる魅力ある仕事です。採用人数は少ないですが、興味があればぜひ採用試験を受けてみてください。特に女性の方、女性の研究職が少なく寂しいので、お待ちしております！